主の祈りについて

今日は、主の祈りを学びます。

まず、主の祈りを確認しましょう。後の説明上、番号をつけます。

① 天にましますわれらの父よ

② ねがわくは、み名をあがめさせたまえ。

③ み国をきたらせたまえ。

④ みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。

⑤ われらの日用のかてを、きょうもあたえたまえ。

⑥ われらに罪を犯すものを我らがゆるすごとく、われらの罪をもゆるしたまえ。

⑦ われらを、こころみにあわせず、悪よりすくいいだしたまえ。

⑧ 国とちからとさかえとは、かぎりなく、なんじのものなればなり。　　アーメン

（こどもさんびかより）

主の祈りの内容をみていきます。

① わたしたちは、イエス様の十字架と復活により罪が赦され、天の父なる神様の前に喜びと感謝をもって親しくお父さんと呼びかけることができます。一人ではなく、みんなと。

② 神様のすばらしさが、わたしたち、すべての人たちとともにほめたたえられるように。

③ 神のご支配が、教会の中からひろげられ、再び来られるイエス様のご支配の完成を待ち望むようにしてください。

④ わたしたちすべてのものが自分中心のわがままな心を捨てて、神様のみ心に喜んで聴き従うものにしてください。

⑤ 神様だけがわたしたちの必要なもの知っておられるので、わたしたちの毎日の食べ物をくださり、神様に頼らせてください。

⑥ わたしたちが、イエス様の恵みによって罪赦されていることを繰り返し思い、わたしたちも隣人を赦すことができるようにしてください。

⑦ 罪深いわたしたちは、神様のあわれみがなければ、一瞬でも神のこどもとして歩むことはできません。弱いわたしたちを罪の誘惑から守ってください。罪との戦いに勝てるようにしてください。

⑧ わたしたちの神様が必ず勝利し、この祈りをかなえてくださる力ある神様であることを喜びと感謝、信仰をもって言い表せてください。アーメンとは、真実にささえられて祈らせてください、そのとおりです、ということです。

主の祈りは、祈るときには、こう祈りなさいとイエス様が弟子たちに教えてくださった祈りです。祈りのお手本であり、祈りの模範です。わたしたちもこのように祈ることができれば、幸いです。神様に喜んでいただけるよう祈りにはげみましょう。

神様に祈るとき、たとえひとりであっても、「われら」と主の祈りにあるように、わたしたちはひとりではありません。イエス様を信じる多くの兄弟姉妹たちと聖霊によって結びあわされて祈っていることを、いつも心にとめておいてください。　　（若月　学）